

コピーライター詩人が作った、
お金で買えない詩たち

まっすぐないのちは
抱きしめるしかないじゃないか

軽快に、

やさしく、

ときにユーモラスなコトバで
語りかけます。

まっすぐないのち

山村新一

山村新一（やまむらしんいち）

1948年2月生まれ 詩人・コピーライター
録音会社に4年間勤務ののち、コピーライター養成講座を受講、1974年に全課程を修了。フリーランスのコピーライターとして最初の仕事は、ホテルの結婚式場の「花束贈呈」の詩だった。その後、スーパー、テーマパーク、ファッションビルなどの店内・館内案内放送用原稿を多数制作している。

詩集

「蝸牛のご挨拶」（1974年5月）

「まだ入口が見えないで」（1975年12月）

「石の柩」（1980年1月）

「石は石」（2001年10月）

「日記のように」（2002年5月）

作詞

菅野政敏（かんのまさとし）作曲・歌

「線香花火」（1976年）、「電車の唄」（1977年）、「さよなら僕の蝸牛」（1978年）、「とりかごの唄」（1978年）がある。

これらの歌はYouTubeで聴くことができる。

詩誌

「夜光虫」（1978年2月創刊～1979年10月16号）

同人誌「なんじゃ」（1997年10月創刊～）

このほか、美術系雑誌・展示会に詩作品を発表・出品。それらが刺激となってさらに新たな作品が多く生まれた。

本書に収録した作品は、同人誌「なんじゃ」などに発表した後に、タイトル変更、削除他、手を加えたものがあります。



手のひらサイズ(128×148mm) ソフトカバー 112ページ
本体1400円+税 発行:ポエムピース

命を愛おしく感じる詩集

2017年6月初旬発売
申込締切 6月1日

いつもお世話になっております。本書は見計らいでの配本はいたしません。
ご注文書店様のみ「新刊委託」いたします。大型書店様もご注文ください。ポエムピース

地方・小出版流通センター	
ご担当:	
注文数	冊
新刊	
まっすぐないのち	
ISBN978-4-908827-26-6 C0095 ¥1400E	
山村新一	
定価： 本体 1400 円 + 税	

発行
ポエムピース

FAX 注文専用
03-4243-3913